

第1回臨時会 第1回定例会のあらまし

平成17年第1回臨時会が、2月1日に開かれ、滞納税不正免除事件で問題となった徴税事務に係る個別外部監査契約に基づく監査の実施など議案2件を審議し、全会一致により、原案どおり可決しました。

平成17年第1回定例会が、2月23日から3月18日までの24日間の日程で開かれ、平成17年度予算など市長提出議案85件、下水道条例の一部改正など議員提出議案6件(意見書4件、決議1件)を審議し、討論(賛成11千葉市議会公明党、21世紀クラブ、新政五月会、自由民主党千葉市議会議員団、反対11市民ネットワーク、日本共産党千葉市議会議員団)が行われ、平成17年度一般会計予算など22件については、賛成多数により、平成17年度交通災害共済事業特別会計予算など68件については、全会一致により、原案どおり可決・同意しました。なお、議員提出議案の下水道条例の一部改正については、否決しました。さらに、平成17年度一般会計予算などの組み替えを求める動議が提出されましたが、賛成少数により、否決しました。

また、代表質疑が5人の議員により、一般質問が12人の議員により行われました。平成17年度予算については、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、審査しました。



花島公園(花見川区)

可決した主な議案

総額七千五百一十一億一千百万円の 新年度予算を可決

第1回臨時会

《個別外部監査》

徴税事務に係る事務監査請求により、監査委員の監査に代えて個別外部監査契約に基づく監査を実施します。

第1回定例会

《予算》

*平成17年度各会計予算

平成17年度予算は、新5か年計画を着実に推進し、市民福祉の向上と地域の均衡ある発展を図ることとし、「環境問題への対応」「少子化対策」などの7分野に重点的に取り組むとともに、「安全・安心のまちづくり」についても充実を図ることとした。また、一層の経費の節減合理化に努め、限られた財源を効率的に配分した結果、前年度と比較して1・1%減の総額七千五百一十一億一千百万円となります。

このうち、一般会計は前年度と比較して1・2%減の三千四百十六億円に、特別会計(企業会計を含む)は1・1%減の三千六百三十五億一千百万円となります。

*平成16年度一般会計補正予算

国の災害対策などによる国庫補助金の決定に伴い、小中学校大規模改造費や防災公園整備費などに、合わせて百四億四千八百万円を追加します。これにより、一般会計の予算総額は、三千六百十億九千八百万円となります。

*平成16年度特別会計補正予算(企業会計を含む)

国民健康保険事業特別会計など6事業

会計に、合わせて四十二億五千八百万円を追加します。これにより、企業会計を含めた特別会計の予算総額は、三千七百二十九億八千四百百万円となります。

《条例》

*千葉市個人情報保護条例の全部改正

個人情報利用停止請求権および指定管理者が公の施設の管理に関して保有する個人情報の保護に関する措置を定めるため、条例の全部を改正します。

*千葉市証明等手数料条例の一部改正

住民基本台帳の閲覧手数料を改定するため、条例の一部を改正します。

*千葉市保健福祉センター条例の制定

若葉区貝塚町に若葉保健福祉センターを設置するため、条例を制定します。

《指定管理者の指定》

次の施設の指定管理者をそれぞれ指定します。

- *千葉市斎場
(富士建設工業株式会社)
- *千葉市あやめ台いきいきセンター
(社会福祉法人千葉市社会福祉事業団)
- *千葉アイススケート場
(株式会社レジャーインダストリー)
- *蘇我球技場
(シミズオクト・東洋グリーン蘇我球技場共同事業体)

《個別外部監査契約》

第1回臨時会の議決に基づき、二千万円を上限とする個別外部監査契約を締結します。

代表質疑

から

3月2日(自由民主党千葉市議会議員
団・新政五月会)、3日(千葉市議会公明
党・市民ネットワーク・日本共産党千葉市
議会議員団)の2日間にわたり、5会派の
代表から平成17年度予算案などについて質
疑が行われました。

自由民主党 千葉市議会議員団

平成17年度予算について

平成17年度予算は、歳入では、市税収入で増収となるものの、各種基金の活用は多くを望めず、一方、歳出では、新5か年計画の仕上げの年として、様々な市民ニーズに的確に対応するために、多額の財政需要が見込まれるなど、きわめて厳しい財政状況の中で、どのような施策に重点的に取り組んだのか伺う。

▶ 新年度予算編成では、厳しい財政状況の中でも、新5か年計画事業の着実な推進を第一の方針に掲げ、市民生活の質的な向上を図るため、バランスのとれた施策の展開に努めた。

▶ 特に重点化を図った施策として、環境問題への対応は、地球温暖化防止対策の推進や全国に先がけて既設の清掃工場における長期責任型の運営維持管理手法の検討を実施する。

新政五月会

情報化の推進に向けた取り組みについて

国では、2010年を目標年次とする「いっぴくも、どこでも、何でも、誰でも」ネットワーク社会の実現を目標とした「Urban Pan構想」策定など、新たな施策が展開されており、行政においては、情報セキュリティ対策について伺う。

▶ 今後の施策の展開にあたっては、これまでの基盤整備から、市民が利便性を実感できる施策や市の業務改善に寄与する施策に重点を置き、電子市役所の早期実現など関係施策を推進する。また、これら施策を計画的に推進するため、現在のICT化アクションプランを受け継ぐ新たな行動計画を策定したい。

▶ 情報セキュリティ対策については、引き続き研修などを実施し、職員一人ひとりに重要性和自ら行うべき対策を認識させるとともに、定期的な

千葉市議会 公明党

障害者施策について

障害者の一般就労には、就労援助センターでの支援が効果的であるので、本市への設置を提案しては、

▶ 今国会の、障害者自立支援法案や障害者の雇用の促進に関する法律の一部改正案などにより、障害者の一般就労に向けた支援が重要と認識している。

▶ 生活ができるようにするためには、一般就労に向けた支援が重要と認識している。

▶ こうしたことから、障害者の就労先となる事業所の開拓や、障害者と事業主との間に立って、助言・指導を行うジョブコーチの養成、また、就労の継続が困難となったものに対する福祉施設での受け入れなど、労

御さんたちへの支援を推進する。高齢者への対応は、新たに認知症高齢者の介護研修や虐待防止の講演会の実施、高齢者福祉施設整備への助成など介護基盤の充実を図る。安全・安心のまちづくりとして、防犯街灯の設置や防犯パトロール隊支援を拡充するほか、新たに小・中・高、養護学校に「さす股」を配備する。また、障害を持つ児童生徒のためのエレベーター設置など学校の安全確保に取り組む。

このほか、雇用対策や地域経済の活性化など、限られた財源を有効に活用し、ハード・ソフト両面にわたる各施策にきめ細かな対応を図った。

保健福祉センターの整備について

若葉保健福祉センターは、従来の福祉事務所と保健センターを統合し開所するが、従来と比較して、施設や市民サービスの面で市のメリット、また、地域保健福祉活動スペースの内容と利用方法を伺う。

▶ 施設や市民サービスのメリットは、保健福祉の相談や申請にワンストップで対応できるように事務室を1階に集中し、口腔保健室、健康学習室などを新設し、健診に必要な諸室を2階に配置した。また、

本庁や保健所から事務を移管し、問い合わせなどに迅速な対応を図るとともに、難病や精神保健福祉に関する申請や交付などを保健福祉センターで行うこととし、保健サービスの充実と利便性の向上を図った。

地域保健福祉活動スペースは、社会福祉協議会区事務所、相談室、ボランティア活動室などを設置した。利用方法は、社会福祉協議会地区部会や民生委員・児童委員協議会、保健福祉関係団体の研修や会議、ボランティア活動などを考えており、土曜日の利用も予定している。



若葉保健福祉センター(若葉区貝塚町)

自己点検を行い、情報セキュリティポリシーに基づいた対策を的確に講じる。また、現在の対策が新たな脅威に対応できるか、外部専門機関による監査を実施し、必要場合にはネットワークの高度化や新たな技術に対応した対策を講じていく。

千葉アイススケート場について

アイススケートが市民に身近な存在となっており、多くの方が楽しんで



千葉アイススケート場(美浜区新港)

現在、本市では、国民健康保険料を1世帯1枚としていることから、家族で同時に病院に行く時など不便をきたしており、改善のため、個人別カード化を求めている。県内では、5市がすでに実施するなど、周囲の状況はカード化に向けて準備を進めており、本市でも、平成17年度に念願の予算が盛り込まれる市民にとっての便利な点と今後のスケジュールについて伺う。

▶ 市民の健康管理に役立つ、ICカード化も検討すべきと考えられる見解を伺う。

▶ 平成13年に、健康保険法施行規則の一部が改正され、今まで世帯単位で交付されていた被保険者証は、1人1枚の個人別カードにするのが原則とされた。

▶ 市民にとっての利便な点は、世帯全員に交付されることで、家族が同時に別の医療機関で受診できることや、仕事や学校の関係で本市を離れる場合の保険証交付手続きが必要なくなるなど、また、カードサイズのため

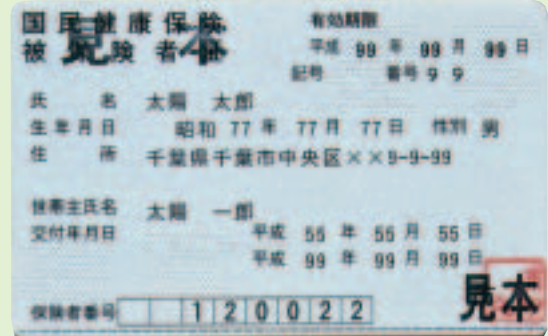
子ども、大人、高齢者などの年齢階層別および障害者などを対象とした、多様なアイススケート教室の開催を計画している。また、各種大会の誘致や教室参加者の技術力向上を図るとともに、選手層の拡大にも取り組む。これらの実施にあたり、豊富な経験と実績を持つ関係団体との協力をいただきたい。普及・振興に努めていきたい。

▶ 交通アクセスについては、JR総武線稲毛駅およびJR京葉線稲毛海岸駅からバス利用が可能となるよう、路線延長をバス会社に要請している。また、約440台の駐車場と約100台の駐輪場を用意している。

携帯しやすい。近年、社会問題となっている「DV」の被害者にとって、医療上の利益を擁護する、いじめも役立つ。

▶ 今後のスケジュールについては、17年度にシステム設計とプログラム作成、18年度に一部プログラム作成を行い、関係機関への周知を図った上で、18年8月に実施したいと考えている。

▶ ICカード化については、現在のところ、ほとんどの医療機関でカードの読取装置などが設置されていないことから、インフラ整備を待って検討したい。



国民健康保険証カードの見本

市民ネットワーク

次世代育成支援行動計画について

次世代育成支援行動計画の素案には、「子育て」が問われることとあるが、具体的にどのような計画か、子どもにとって、自立し育つための長期プランとして活用できるような視点に立ち策定する必要はあると考えます。

▶ そのため、子ども自身の育ちを支援するため、子どもの権利条約に基づき、市として何らかの条例制定の必要もあると考えるかを伺う。

▶ 少子化の進展、家庭や地域社会の教育力の低下など、様々な問題が指摘される中で、特に子どもたちの精神的な自立の遅れや社会性が育まれにくくなるなど、子ども自身の健やかな成長が懸念されている。こうした中、子どもたちが健康で豊かな心を持つ人間として成長し、たくましさや優しさ、我慢強さをあわせて育てるよう、多様な体験を通じて、子ども自ら「生きる力」を身に付けていく「子育て」が問われているとしたものであり、子どもの視

点に立った取り組みが重要と考えている。子どもの権利条約に基づく条例の制定については、子どもが権利が尊重されること、大変重要なことであり、我が国では、子どもが権利条約を批准しているところである。他都市で子どもの権利条約を制定していることは承知しているが、その運用状況や他の自治体の動向を見守っていきたくと考えている。

日本共産党 千葉市議会議員団

大型公共事業の見直しについて

新年度予算総額を四十四億円も不足を伴う厳しい予算にも関わらず、大型開発十億円以上の大型公共事業を見直ししないのは、市民生活の軽視である。

▶ 鶴岡市政は、松井市政の4年間に比べ、都市再生など4つの大型開発に250億円も多い五百二十億円の注ぎ込んできた。これが、福祉・環境・地域経済活性化・教育を削り、借金を増やし続け、財政危機を招いた原因でもある。

▶ 減額し、百九十二億円の収支不足を伴う厳しい予算にも関わらず、大型開発十億円以上の大型公共事業を見直ししないのは、市民生活の軽視である。

▶ 鶴岡市政は、松井市政の4年間に比べ、都市再生など4つの大型開発に250億円も多い五百二十億円の注ぎ込んできた。これが、福祉・環境・地域経済活性化・教育を削り、借金を増やし続け、財政危機を招いた原因でもある。

▶ 減額し、百九十二億円の収支不足を伴う厳しい予算にも関わらず、大型開発十億円以上の大型公共事業を見直ししないのは、市民生活の軽視である。

▶ 鶴岡市政は、松井市政の4年間に比べ、都市再生など4つの大型開発に250億円も多い五百二十億円の注ぎ込んできた。これが、福祉・環境・地域経済活性化・教育を削り、借金を増やし続け、財政危機を招いた原因でもある。

▶ 減額し、百九十二億円の収支不足を伴う厳しい予算にも関わらず、大型開発十億円以上の大型公共事業を見直ししないのは、市民生活の軽視である。

▶ 鶴岡市政は、松井市政の4年間に比べ、都市再生など4つの大型開発に250億円も多い五百二十億円の注ぎ込んできた。これが、福祉・環境・地域経済活性化・教育を削り、借金を増やし続け、財政危機を招いた原因でもある。

▶ 減額し、百九十二億円の収支不足を伴う厳しい予算にも関わらず、大型開発十億円以上の大型公共事業を見直ししないのは、市民生活の軽視である。

▶ 鶴岡市政は、松井市政の4年間に比べ、都市再生など4つの大型開発に250億円も多い五百二十億円の注ぎ込んできた。これが、福祉・環境・地域経済活性化・教育を削り、借金を増やし続け、財政危機を招いた原因でもある。



広報ビデオ「応援します! 楽しい子育て」

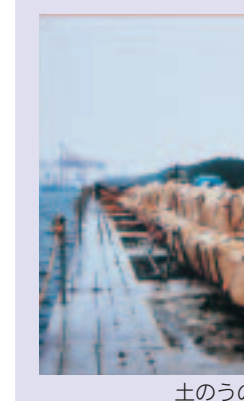
公益通報者保護法が平成16年6月に成立し、いわゆる内部

告発を法的に正当な権利として認め通報者を保護する仕組みができた。不正を排除し、市民生活の向上に寄与する。また、倫理規定の整備については、この度の不祥事件を踏まえ、15年度より、全所属長を対象とした公務員倫理研修を実施するなど、職員意識改革に取り組んでいる。

▶ なお、条例化については、その必要性も含め検討していきたい。

JFEスチールにおける環境問題について

JFEスチールによる排水の自社測定データ改ざんは、水質汚濁防止法に違反するものであり、都部の再生と地域経済の活性化に大きな効果を発揮するものと考えている。



土のうの積まれた工場防波堤

▶ JFEスチールには何の困りもなかったのは、JFEとのなれ合いで真剣にチェックする姿勢に欠けており職務怠慢ではないか。

また、製造過程から漏れた有害物質や7万トンも積み上げられたスラグに雨が降れば、高アルカリ水シアン・六価クロムなどの有害物質が海へ入ストリートに流れ出す。違法排水は、西工場稼働時期からずっと続いていたのではないかと、

JFEの主眼は、現在、県と合同でヒアリングを実施し、データ改ざんの経緯の確認を行っている。

JFEは、県・市と三者による公害防止協定を締結し、公害防止を約束した企業であり、基本的に報告データを信頼していた。職員の職務怠慢とは考えられない。

▶ 高アルカリ水の排出の原因などについては調査中である。また、シアン・六価クロムなどの有害物質については、JFEによるスラグの溶出試験の結果報告では検出されていないが、本市としては、今後必要に応じ確認する。

▶ JFEは、県・市と三者による公害防止協定を締結し、公害防止を約束した企業であり、基本的に報告データを信頼していた。職員の職務怠慢とは考えられない。



花見川桜祭(坊辺田交鼻橋周辺)

可決した意見書・決議(要旨)

議員提出議案として5件の意見書・決議を審議し、可決しました。可決した意見書・決議は、国会および関係行政機関に送付しました。

●振り込み詐欺などの知能犯罪等を防止するための法整備を求める意見書

国に対し、振り込み詐欺などの知能犯罪等を防止するため、犯罪に利用されることの多いプリペイド式携帯電話の譲渡の確認作業や利用停止については、事業者や仲介業者の自主規制に委ねることなく、また前払いした通話料を一たん使い切った後、追加払いする際の本人確認を義務づけるなどの法整備を早急に行うよう強く求める。

●少子化対策の推進に関する意見書

- 国に対し、当プランの取り組みとその評価に当たり、子どもや子育て現場の視点を含めた国民の意識や生活実態、さらには先進諸国の成功例を十分研究しこれを参酌するとともに、次の事項について積極的に推進するよう強く要望する。
- 1 高齢者関係給付が大きな比重を占める社会保障給付について、制度を支える若い子育て世代および将来世代への給付増を図ること。
 - 2 児童手当等の一層の充実、子育て家庭に対する税制上の優遇措置を図ること、経済的負担感を緩和する施策を講ずること。
 - 3 結婚し子どもを子育てしながら男女を問わず多様な働き方ができるよう、企業における雇用形態や労働時間の弾力化、職場復帰が可能な雇用環境の整備を図ること。
 - 4 専業主婦への子育て支援策の充実を図ること。
 - 5 子育てに適した住宅取得等の支援を推進すること。

●発達障害児(者)に対する支援促進を求める意見書

国に対し、発達障害者支援センターを都道府県ごとに設置するに際しては、よりきめ細かな支援対策

を実施するためには市区町村の役割が極めて重要であり、支援のネットワークづくりが求められていることから、下記の事項を実施するよう要望する。

●若者の雇用対策の強化を求める意見書

- 国に対し、若者の雇用対策を強化する以下以下の項目について強く要望する。
- 1 企業に対し、積極的に若者を雇用するよう強く働きかけること。
 - 2 若者への雇用・就業機会が十分に確保されるようにすること。
 - 3 派遣労働者を常用雇用にする労働者派遣法上の努力義務を厳守させること。
 - 4 職業紹介や職業訓練制度のさらなる充実を図ること。

●JFEスチール株式会社東日本製鉄所における環境問題に対する決議

千葉市および県においては、水質汚濁防止法および公害防止協定に基づき、現状の早急な改善、再発防止について適切に対処するとともに、JFEスチール株式会社においては、社会的責任があることを認識し、公害防止に関する管理体制の見直し、分析データ取り扱いマニュアルの作成等、再発防止策を早急に行うよう強く求める。

会派等構成 (平成17年4月14日現在)

- 議員定数 56人
- 自由民主党千葉市議会議員団 21人
- 新政五月会 10人
- 千葉市議会公明党 8人
- 市民ネットワーク 7人
- 日本共産党千葉市議会議員団 6人
- 21世紀クラブ 2人
- 無所属 2人

委員会審査・調査から

常任委員会

3月10日に開かれ、市長提出議案54件、議員提出議案1件、請願3件、陳情1件を審査しました。

その結果、すべての市長提出議案は可決となり、議員提出議案は否決となりました。

また、請願・陳情は、採択送付1件、不採択1件、継続審査2件となりました。

なお、閉会中の2月15日に環境建設委員会が開かれ、JFEスチール株式会社東日本製鉄所千葉地区における環境問題について調査しました。

総務委員会

議案16件を審査し、個人情報保護条例の全部改正について、指定管理者およびその従業者に対する条例趣旨の周知徹底および情報の保護対策、漏洩防止のための管理体制のあり方と漏洩した際の市民に対する補償などについて質疑がありました。

証明等手数料条例の一部改正について、本市と同様の手数料を徴収している他政令市の状況、業者に対する住民基本台帳の閲覧制限などについて質疑がありました。

保健下水道委員会

議案17件（議員提出議案1件）、請願2件を審査し、保健福祉センター条例の制定について、施設整備に関し、施設規模への地域特性の反映状況、国からの指導内容、他政令市での保健福祉センター配置状況などについて質疑がありました。

斎場に係る指定管理者の指定について、管理者の選考基準、制度導入による市民サービスへの影響、新斎場における火葬炉の運用、市民利用の無料化などについて質疑がありました。

低所得世帯への配慮、他政令市における日割計算の事例の有無、本案による下水道事業会計減収に対する手当てなどについて質疑がありました。

環境建設委員会

議案8件、請願1件、陳情1件を審査し、新港横戸町線京成電鉄千葉線交差部工事などの工期変更について、工期の妥当性、工事契約において工期延長が多く生じている原因などについて質疑がありました。

JFE排水データ改ざん事件に関する請願について、改ざんへの組織的関与および罰則の有無、刑事告発に対する考え、また、改ざんを発見できなかった原因、今後の検査方法および定期的見直しなどについて質疑がありました。

JFE排水データ改ざん事件の真相究明と再発防止を求める請願

不採択
▼美浜区新港地区に設置計画中の産業廃棄物処理施設に関する陳情



環境建設委員会審査風景

経済教育委員会

議案10件を審査し、学校給食センター設置管理条例の一部改正について、PFI制度活用による食の安全性、業務開始に向けての準備状況、検査の実施方法および時期、市職員の配置計画などについて質疑がありました。

アイススケート場に係る指定管理者の指定について、制度導入によるコスト削減の見解、類似施設の管理実績、指定期間の設定理由、また、当該施設の必要人員、年間運営経費、民営によるサービスに対する見解、稼働率向上対策などについて質疑がありました。



大宮学校給食センター（若葉区大宮町）

都市消防委員会

議案8件を審査し、一般会計補正予算中、蘇我特定地区整備事業および蘇我スポーツ公園整備事業に関し、JFEスチールの環境問題についての見解、今回の補正予算による事業用地の買収箇所、今後の整備方針、市による環境データ収集の有無などについて質疑がありました。

市営住宅等設置管理条例の一部改正について、特定優良賃貸住宅の空き家状況、また、特定優良賃貸住宅の市営住宅化に関し、建物所有者に対して行う入居対象者拡大についての働きかけおよび今後の見通し、既に実施済みの団地の入居状況などについて質疑がありました。

なお、次のとおり所管事務調査が行われました。
* 滞納整理事務マニュアルの改訂について (3/10総務委員会)
* 社会福祉法人鳳雄会が設立する児童福祉施設について (3/10保健下水道委員会)

都市臨海部開発問題調査特別委員会

3月24日に開かれ、「JR蘇我駅周辺地区」整備計画および蘇我臨海部地区の状況調査について協議しました。

予算審査特別委員会

委員長	橋本登
副委員長	布施貴良
第一分科会主査	布施貴良
同 副主査	小関寿幸
第二分科会主査	橋本登
同 副主査	山口晴美

平成17年度予算議案を審査するため、3月4日に、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、計5日間 にわたり審査しました。

3月17日の委員会では、分科会報告の後、各派の意見表明が6人の委員により行われ、17年度各会計予算を原案どおり可決しました。

の施策を検討するとともに、各種相談体制の一層の充実を図り、雇用創出に向けた施策展開に努めること。

子育て支援については、増加する保育需要に対応するため、待機児童の解消に向けた、より一層の施策の推進に努めること。

また、社会福祉法人鳳雄会に対しては、施設の健全運営に向けての厳正なる指導を行い、早急な改善を図ること。

産業廃棄物対策については、本市における処理施設のあり方を検討するとともに、不法投棄の防止に努め、市民が安心して生活できる環境の保全に取り組むこと。

また、JFEスチール株式会社東日本製鉄所千葉地区における環境問題については、再発防止に向けた適切な対応を講じること。

農業振興に当たっては、農政センターの積極的な活用や流通体制の整備に努め、市内農家の安定した経営に向けた対策を講じるとともに、農業後継者の確保についてさらなる対策を図ること。

一般質問

一般質問が、3月14日から17日までの4日間に12人の議員により行われました。主な質問項目は次のとおりです。

- JFEスチール(株)の環境問題について
- ペイオフ対策について
- 防犯対策について
- 公共用地のあり方について
- 行政改革推進計画について
- 立て看板等の規制について
- 公園の管理、運営について
- 内部告発保護について
- こともたちに戦争体験を語り継ぐために
- 産業廃棄物処理施設について
- ジェンダー・フリー教育を問う
- 子どもの権利について



表紙の写真は、花見川区の花鳥公園の様子です。園内には、テニスコートや球技場、溪流園、お花見広場などがあり、市民の方々の憩いの場となっております。

また、4月にオープンした花鳥公園センターは、運動施設と「コミュニティセンター」の複合施設で、体育館やトレーニング室、多目的室や講習室などが利用できます。

「ちば市議会だより」発行委員会

- 委員長 向後一夫
 - 副委員長 黒宮昇
 - 委員 伊藤晶 長谷川弘美
 - 中村公江
- 問い合わせ先 議会事務局調査課
043(245)5472

お知らせコーナー

傍聴のご案内

平成17年第2回定例会は6月28日(火)に開会する予定です。本会議は、原則として公開していますので、どなたでも傍聴できます。傍聴は、本会議の当日、議会棟1階で受け付けています。会議日程は6月24日(金)に決まる予定です。

千葉市議会ホームページのお知らせ

本市議会のホームページで、本会議や予算・決算審査特別委員会の生中継や録画放映(2、3日後)がご覧になれます。また、ご覧になっていない方もぜひ一度アクセスしてご覧ください。ホームページアドレス <http://www.city.chiba.jp/gikai/>